

患者さんパンフレット

四国がんセンター
消化器内科



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態での治療が受けられるようにお手伝いします
- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いします



化学療法 mFOLFOX6+bevacizumab療法を 受けられる方へ

さま



主治医

受け持ち看護師

mFOLFOX6+Bevacizumab療法のスケジュール

1コース（14日間）

| 治療日数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8~14 | 15日目以降 |
|------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|------|--------|
| ペバシズマブ（点滴） 90分（2回目以降は30分） | ● | | | | | | | | ● |
| オキサリプラチン（点滴） 2時間 | ● | | | | | | | | ● |
| 5FU（点滴） 5~10分 | ● | | | | | | | | ● |
| 5FU（持続注入） 46時間 | ● | → | | | | | | | ● |

*この他に、アレルギーを抑える薬や吐気止めの点滴、内服薬などがあります

- 抗がん剤を投与したときに、過敏反応が起こることがあります
過敏症状がでたら、早めに点滴を止めることが大切です
- 息が苦しい、胸がドキドキする、吐き気など気分が悪いときは
我慢をしないで、すぐに医療スタッフにお知らせください



治療前の歯科受診について

- ◆治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の
歯科診察を行っています
- ◆治療前の歯科受診では、以下を行います
 - レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - 歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - 適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆通常1~2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です
治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中を
きれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まると薬が腎臓や膀胱を刺激し、炎症を起こしますので尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- * 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- * 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接接触しても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・ **男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう**



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう

- ・トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - * 使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - * トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院期間は7日前後の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます





今日の目標

- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>

<予定>

| | | |
|-------|----|--|
| 11:00 | 入院 | <p>【入院後に以下のことを予定しています】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定 |
| 12:00 | 昼食 | <ul style="list-style-type: none"> ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・レントゲン（胸部・腹部）、心電図、血液検査 ・歯科受診 ・医師より抗がん剤治療の説明があります ・サインをした同意書は看護師にお渡しください（初回治療時のみ） ・初回治療のときは、栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります <p>2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください</p> |
| | | <p>過敏症、点滴部位の痛み・血管痛、吐き気・嘔吐、味覚障害・食欲不振、便秘、下痢、口内炎、神経障害、骨髄毒性について説明します 「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照 「ベバシズマブハンドブック」参照</p> |
| | | <p>携帯用注入ポンプ（バクスターインフューザー）の取り扱いについて説明します 「携帯用注入ポンプを使って治療を受けられる方へ」パンフレット参照</p> |
| 18:00 | 夕食 | <p><お薬></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします <p>医師の指示を確認後、続けるか、中止するかをお伝えします</p> <p><食事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります |
| 21:00 | 消灯 | <p><睡眠></p> <p>眠れないときは安定剤を服用することができます</p> |

薬剤師から治療の流れや副作用の説明があります
ベバシズマブの注意点について詳しく記載された冊子をお渡しします
治療が開始したら、毎日治療ダイアリーを記入しましょう



※2回目以降の入院の方は、治療ダイアリー（血圧手帳）を確認します
血圧が正常値より高い、頭が重い感じが続く、鼻や歯肉からの出血が続くなど
気がかりなことがありましたら、看護師にお知らせください

医療スタッフの目標

- ・入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないように支援します





今日の目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる

| <時間> | <予定> |
|-------|---|
| 6:00 | 起床 |
| 7:30 | 朝食 洗面、歯磨き 検温、血圧測定 |
| 10:00 | 検温、血圧測定 点滴開始前にシャワー浴をしましょう |
| 12:00 | 昼食 歯磨き |
| 13:30 | 点滴を始めます 抗がん剤の点滴開始時、開始後15分、抗がん剤終了時に、 体温、血圧、酸素飽和度を測定します |
| | ①抗がん剤（ベバシズマブ）【初回90分・2回目以降30分】 |
| | ②吐き気止め 【15分】 |
| | ③抗がん剤（オキサリプラチン）【2時間】 ※抗がん剤の横からレボホリナートを点滴します【2時間】 |
| | ④抗がん剤（5FU）【10分】 |
| | ⑤抗がん剤（5FU）【46時間】 |

- 点滴中は、副作用を早期発見するために付き添ったり頻回に訪室します
- 針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください
- 呼吸が苦しい、吐き気がする、胸が苦しい、体がかゆい、気分が悪いときは我慢をしないでお知らせください
- 点滴のもれを防ぐために看護師が身の回りのことをお手伝いします
- 点滴中は、トイレなどの歩行時、転倒に注意しましょう
- 点滴台を支えにして歩くと転倒の可能性があります
支えにしないようにしましょう

<時間>

<予定>



フタをして水を
2回流しましょう

- 冷たいものは常温になってから
食べましょう
- 手すりやドアノブなど冷たいものに
素手で触れないようにしましょう

18:00

夕食
歯磨き

吐き気の強いときは追加で
お薬を使うことができます
遠慮なく看護師にお伝えください



携帯用注入ポンプ（バクスターインフューザー）
は、温度によって薬が入る速度が決められて
います
流量制御管は服の中に入れて、**肌に密着させて**
おきましょう

19:00

検温、血圧測定

21:00

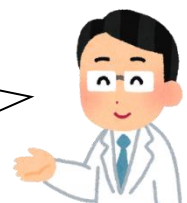
抗がん剤の残量確認

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- アレルギー症状や副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる

| <時間> | <予定> | |
|-------|---|---|
| 6:00 | 起床 | 水分をしっかりととりましょう 治療ダイアリーを記入しましょう |
| 7:00 | 抗がん剤の残量確認 | |
| 7:30 | 朝食 洗面、歯磨き 検温、血圧測定 | • 冷たいものは常温になってから 食べましょう • 手すりやドアノブなど冷たいものに 素手で触れないようにしましょう |
| 10:00 | 検温、血圧測定 | |
| 12:00 | 昼食 歯磨き | • 針の入っているところや腕、肩、背中などが 赤くなった、腫れている、痛みがあるときは すぐにお知らせください • 吐き気など気分が悪いときは我慢をしないで お知らせください |
| 14:00 | 検温、血圧測定 抗がん剤の残量確認 体調に合わせて体を拭きます | |
| | | 【次回外来で治療予定の方】 • 針の抜き方について説明します • デモ機を使って練習します 「携帯用注入ポンプを使って治療を受けられる方へ」パンフレット参照 |
| 18:00 | 夕食 歯磨き | |
| 19:00 | 検温、血圧測定 抗がん剤の残量確認 | フタをして水を 2回流しましょう |
| 21:30 | 消灯 | |

医療スタッフの目標

- 副作用症状を早期発見し、症状緩和に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます



抗がん剤投与3日目 月 日



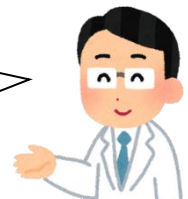
今日目標

- 安全に抗がん剤治療を受けることができる
- 副作用症状出現時は、医療スタッフに知らせることができる

| <時間> | <予定> | |
|---|-------------------------|---|
| 6:00 | 起床 | 水分をしっかりととりましょう 治療ダイアリーを記入しましょう |
| 7:00 | 抗がん剤の残量確認 | |
| 7:30 | 朝食 洗面、歯磨き 検温、血圧測定 | • 冷たいものは常温になってから 食べましょう • 手すりやドアノブなど冷たいものに 素手で触れないようにしましょう |
| 10:00 | 検温、血圧測定 | |
| 12:00 | 昼食 歯磨き | • 針の入っているところや腕、肩、背中などが 赤くなった、腫れている、痛みがあるときは すぐにお知らせください • 吐き気など気分が悪いときは我慢をしないで お知らせください |
| 14:00 | 検温、血圧測定 点滴終了後、針を抜きます | |
| 【次回外来で治療予定の方】 • 実際に看護師と一緒に針を抜きましょう 「携帯用注入ポンプを使って治療を受けられる方へ」パンフレット参照 | | |
| 針を抜いて2時間以上経過していれば、シャワー浴が行えます | | |
| 18:00 | 夕食 歯磨き | |
| 19:00 | 検温、血圧測定 | フタをして水を 2回流しましょう |
| 21:30 | 消灯 | |

医療スタッフの目標

- 副作用症状を早期発見し、症状緩和に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・副作用症状出現時の対処方法がわかる

<時間>

<予定>

6:30

起床

7:30

朝食
洗面、歯磨き

水分をしっかりとりましょう
治療ダイアリーを記入しましょう

10:00

検温、血圧測定

- ・冷たいものは常温になってから食べましょう
- ・手すりやドアノブなど冷たいものに素手で触れないようにしましょう

12:00

昼食
歯磨き

14:00

検温、血圧測定
シャワー浴をしましょう



フタをして水を
2回流しましょう

18:00

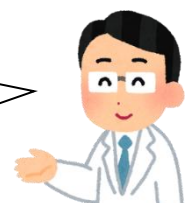
夕食
歯磨き

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用症状を早期発見し、症状緩和に努めます





今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

| <時間> | <予定> | |
|-------|--------------|---|
| 6:30 | 起床 | 水分をしっかりとりましょう 治療ダイアリーを記入しましょう |
| 7:30 | 朝食 洗面、歯磨き | |
| 10:00 | 検温、血圧測定 | ・冷たいものは常温になってから 食べましょう ・手すりやドアノブなど冷たいものに 素手で触れないようにしましょう |
| 12:00 | 昼食 歯磨き | 【次回外来で治療予定の方】 ・退院までに通院治療室の見学に行きます |
| | シャワー浴をしましょう | |
| 18:00 | 夕食 歯磨き | 退院日が決定したら、看護師より 退院後の日常生活について説明があります |
| 21:30 | 消灯 | |



医療スタッフの目標

- ・副作用症状を早期発見し、症状緩和に努めます
- ・退院の準備をすすめられるように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

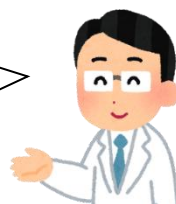
外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院後の日常生活について

●食事

無理せず食べられるものを探し、食事はゆっくりと時間をかけたり、少量ずつ可能な範囲で食べるとよいでしょう
食事ごとに吐いてしまうようなときは、1～2食、食事は控えてみましょう
この場合も水分はできるだけとりましょう



●排泄

毎日排便があるようにしましょう
規則的な排便習慣を身につけるため、朝食後トイレに行く習慣をつけましょう
軽い運動をしたり、こまめに水分をとるようにしましょう
便秘気味の方は、緩下剤を服用しましょう
下痢のときはしっかり水分補給をしましょう
水分を控えると脱水症状を起こすことがあります
退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

*退院後、便秘が続き排ガスがない、下痢や吐き気、腹痛がある場合はかかりつけ医、または、四国がんセンターを受診しましょう

●活動

無理をしない程度で体を動かしましょう
活動の内容や範囲に制限はありません
白血球が下がっているときは、なるべく人混みは避けましょう
外出時は**マスクを着用**して、帰宅時に手洗い、うがいをしましょう
寒冷刺激は、しびれなどの神経障害を誘発したり、悪化させる原因となります
・冷たいものに触れたり飲んだりしないようにしましょう
・洗面や手洗いなどはできるだけ温水を使用しましょう
・炊事や洗濯の際は、厚めのゴム手袋を着用しましょう
・皮膚が濡れたらすぐに水分を拭きとるようにしてください
・エアコンなどの冷気に体をさらさないように気をつけましょう
また床など、ひんやりと感じるところに直接座らないようにしましょう

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください



●お薬

発熱や吐き気、下痢に対して薬の処方がある方は、
医師の指示どおりに服用してください

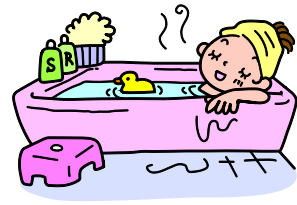
発熱した場合は、服用前にかん相談支援センターに連絡してください

服用しても症状が改善されない場合もがん相談支援センターにご連絡ください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



●入浴

外来治療後、抗がん剤を投与中は入浴を避けましょう
下半身のみシャワー浴を行ってもかまいません
抗がん剤の投与が終了し、針を抜いた後、
2時間以上たってから入浴しましょう



●仕事

重労働はしばらく避けましょう
これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります
病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています
ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



●治療ダイアリー（血圧手帳）

退院後も、治療ダイアリー（血圧手帳）は毎日記入しましょう
治療ダイアリー（血圧手帳）は、次回受診時にお持ちください
血圧が正常値より高い、頭が重い感じが続く、鼻や歯肉からの出血が続くなど、
気がかりなことがありましたら、医療スタッフにお知らせください

●その他

治療中は自宅でも家庭用血圧計を用いて、毎日血圧を確認し記録しましょう

外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

① 受付



B受付

② 採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆
採血時に注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血しましょう



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③ 診察受付

A受付

B受付

C受付

S受付

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科
禁煙外来

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④ 診察

乳腺外科
婦人科
形成外科
頭頸科・甲状腺腫瘍外科
歯科
病理診断科

消化器内科
糖尿病内科
内分泌内科
循環器内科
皮膚科
眼科
精神科
脳神経外科
リンパ浮腫
がんゲノム医療外来

治療決定

S受付

⑤ 治療
通院治療室

看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了

検査や他の診療科で診察のある方は、各受付へ

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

⑥ 会計

予約センターは
B受付の隣です



処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

6番窓口で処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行うため、少し時間がかかります。
- 入室時に、ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料で利用できます。ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- 付き添いは原則ご遠慮いただいております。ご家族の待機場所として「暖だん」や「図書コーナー」などがあります。
- 副作用や日常生活で困っていることや相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。





- 37.5℃以上の発熱が続くとき
- 抗がん剤の投与が終了する前に針が抜けてしまったとき
- 下痢が続くとき
- 食事がとれないほど、ひどく体調が悪いとき
- 激しい腹痛があるとき
- 激しい頭痛があるとき
- 出血が止まらないとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13：00～17：00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



化学療法mFOLFOX6+bevacizumab療法を受けられる方へ